

K120.1

61.4

1

稻垣千頴編述 高等科  
生徒用

# 小日本修身書

東京 成美堂發兌

## 緒言

一此の書は尋常小學科用日本修身書小續きて、高等小學科教科に充つるが爲よ、編纂せし者乎して、主として、教育小關せる勅語、及現行教則大綱等、緊要ある教育の精神に依り、古哲孔格言、及之を敷衍したる論說或轉録し、更に本邦人士の善行を採擇して、其の實例を示し、以て忠孝友和信誠もとめ、諸般乃德性と、其の志氣とを養成する用よ供せり。

一此の書、全編分けて八卷とし、毎卷道德孔全體

稻垣千頬編述

高等科  
生徒用

# 小日本修身書

東京成美堂發兌

緒言

一  
此の書は尋常小學科用日本脩身書小續きて、  
高等小學科教科に充つるが爲よ、編纂せし者  
も、主として、教育小關をる勅語、及現行教  
則大綱等緊要ふる教育の精神に依り、古哲孔  
格言及之を敷衍し、大る論說或輯錄し、更に本  
邦人士の善行を採擇して、其の實例を示し、以  
て忠孝友和信誠をもとめ、諸般乃德性と、其の志  
氣とを養成する用よ供せり。

一  
此の書、全編分けて八卷とし、每卷道德孔全體

に涉る材料を蒐集せる所以て、修業年限二箇年計高等科ふ於ては、第四卷まで、該課し、三箇年の高等科に於ては、第六卷までを課すべき、人道實踐の方法、尊王愛國計大義該辨へ一むること能得べし。

一此の書、全編、勅語計聖旨と順序とに遵ひ奉りたきども、殊よ第七第八の巻に於て、聖諭小解該載せ、以て生徒をして、益其の依據を有する所を明瞭あらしめたり、

一文章へ、品格高くして、句調流暢ならんこと該

務めたり、是文章の品位も、修身科授業上譬へば、猶言語計粗野と優美とふよりて、生徒の感情を異よそるが如く、頗緊要の者ふきばなり、一挿画も、故實該精查して、高尚優美计粉本に據らしめたり、蓋、挿画の品位ハ、猶文章の品位也如く、大ふ生徒乃感情よ關する者あきばなり、一言行該記をるハ、三公を公と稱し、三位以上を卿と稱する類、一に本朝の制よよりて、以て朝爵を貴ふ該示し、藩主大名等を諸侯と稱し、其の家士を臣と言ふが如き、もと私稱みして、朝

廷の制はあらざる者へ、一切之を用ひば、此の書以外、別ふ教師用書四冊找編して、實地應用乃方法等を詳記せり。

一 此の書を編むるに當て、十數年間、小學校中學校、師範學校の教職より從事して、普通教育に老練なる諸氏計工案と助力と残さずしめ、十分實踐上小利便あらざることを務めたり、

明治二十六年七月

編者識

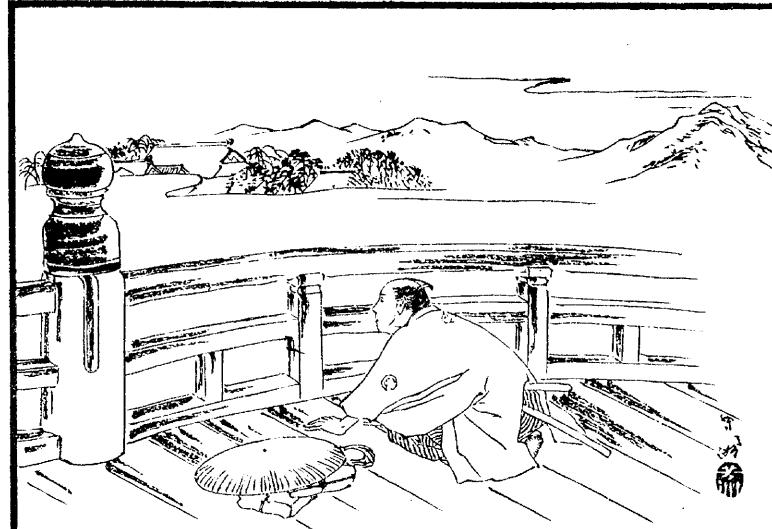
小日本脩身書卷一

稻垣千穎編述

尊王

國といふ國は多けれども、我が國ほど尊き皇室の治めす國もあらず、いと畏き御事ながら、我が皇室は、天地の初より、皇統連綿として、御威徳長々に光り輝き、千代に八千代にいや榮えに榮えまして、我等臣民を惠ませ給へり、かゝる尊き皇室に仕へ奉るもの、孰か忠誠の心を盡して、之を崇敬一奉らざらん、

高山彦九郎正之は尊王の心いと深く日本國中を遍歴して交を同志の人々に結びけるが京都に入る時は何時も三條大橋の上に平伏し草莽の臣高山彦九郎正之と高らかに名乗り遙に禁闕に向ひて誓首し感極りて落涙せり往來の人之



と見て嘲笑すれども耳にも懸けず崇敬の誠を盡へけるとぞ我等臣民たる者何人も斯くあらまほしきなり

### 世々忠貞ヲ篤クシテ王家ニ服勞ス

#### 尊王

日向國諸縣郡倉岡の谷村計助といふ者明治五年熊本鎮臺に徴れて歩兵となり佐賀の亂に功ありて伍長となれり神風黨の暴動の一時命を受けて小倉分營に急を報ず尋て西南の役起り



敵、熊本城を圍むに及びて、守將谷少將、計助と擢めて、命ずるに防禦の方略を、征討の軍に報ずることを以てせり。計助、乃ち面に煤煙を塗り、身に縊縷を纏ひ、夜に乗じて征討城を出で、辛くして征討先鋒の營に達して、使命を述べけり。其の言語の

悲壯なる、聽く者感激して、涙を流さざるはなかりき。官軍田原坂を攻むる時、計助傳令の事を務めけるが、挺身賊壘を突きて勇戦し、彈に中りて死せり。時に年二十五、諸將校大に之を惜み、爲に東京靖國神社に一碑を建て、題して軍人龜鑑の碑と曰へり。我が皇室に仕へ奉る者、計助の如くして、始めて可なりと謂ふべきなり。

夙夜懈ラズ、以テ一人ニ事ヘ奉ル。

孝親

父母我等を生育し給ふには、晝夜艱難辛苦を厭らず、常に荒き風にも當てどと、心づかひし給ひて、我等少一の病あれば、其の身之に代らんとまでに心を痛ましめ、寐る間も、我等を忘れ給ふ事なし、其の恩山よりも高く、海よりも深し、我等是に報へ奉らずして可ならんや。

上總國望陀郡曾禰村に、小泉甚兵衛といふ農夫あり、父早く死りて、母一人ありけるが、病みて贊にすりぬ、甚兵衛之に事ふること至らざることなく、晝は耕耘を勉め、夜は母の手足を撫で摩り

ても、尚其の及ぞざらんことを恐れけり、或る時、母、東京淺草の觀世音を拜みたし、といひければ、甚兵衛自之を脊負ひ往きて、其の所望を遂げしめたるなど、人の及ぞざる所多かりければ、一村の人歎賞せざるものなかりき、されば、舊豊橋藩よりは、米を賜ひて之を貰し、今の千葉縣廳よりは、金を賜ひて之を褒め給へり、

父母我ヲ生ミニテ、劬勞ス、

慰親

孝行の條目甚多けれども、父母を慰むること、最肝要なり、何事も父母の教訓に違てず、世法を重んじて、よく身を守り家を保つ可し、是父母を慰むる道なり。

陸奥國、安積郡、濱坪村の農夫六之助といひへは、孝心篤き人なりけり、幼時父を喪ひ、一人の母に事へて愛敬を盡し、母の命ずる事は、何事を措きても、必之を辨ドて、只其の心に違とんことを恐れけり、母酒を嗜みければ、常にこれを蓄へ置いて、其の需に供へ、他出する時は、必醇酒鮮魚を買

ひ歸りて、是を進めけり、又夜寒の頃は、母目を覺して、酒欲と思ひ給ふことあらんかとて、自之を温め、其の覺むる時を待ちて進めなど、心を盡して母の心を慰めければ、母も深く之を喜びて、母子の間睦へき事、人の羨むぞかりなりき、斯



くて此の事領主に聞えければ米許多賜ひて褒美せられけり、是元禄三年の事なり、

孝子ノ親ヲ養フハ、其ノ心ヲ樂マシメ、其ノ志

ニ違ハズ、

### 柔順

女子は容貌の美一からんより、心の勝れたるを善一とす、心騒一く、言荒らかに我が身に誇りて、人を謗り笑ふなどは、いたく女子の道に違へるなり、女子は貞順にして情深く、父母舅姑によく事

一、夫を敬ひ、奴婢を隣む可きより、

池田光政の夫人は、本田忠刻の女なり、光政に嫁し、夫に敬事して、婦道を盡せり、常に其の女兒を教訓するに、女子は女子らしきが善きより、男子に優らん事を思ふ可らず、嫁して後は、只一筋に夫を敬愛して、他念あるべからず、嫉妬は、女子の殊に慎む可き事にて、和漢共に之を諒めたり、若一夫過失あらば、色を和げ聲を靜ふして、曲に之を諫む可し、斯くすれば、夫も自其の行爲を改むる者なり、また裁縫の事は、女子の職分なれば、必

是に巧ならん事を心懸く可し、貴人なり、とて之を知らざれば、女子の務を失ふものなり、御身等是を心肝に銘一にて、忘るゝ事勿れと言ひけり、

女ハ、唯々和ぎ順ヒテ、貞心ニ情深久、靜ナルヲ  
善シトス、

### 友愛

兄弟は、父母に亞ぎて親しき者なり、其の幼時は、同ド父母の膝下に在りて、食するに卓と一緒にし、眠るに室を俱にして、出入遊樂必相伴ひて、睦び交

れり、されば、成長の後益相愛し、互に扶助し、業を勉め、家を興して、父母之心を安んず可きなり、美作國に、甲田重行といふ者あり、弟は行喜とて、醫を業としけり、或る時、重行田地若干を分ちて、行喜に與へんといふに、行喜固く辭して、嚮には、

兄君莫大の資財を投じて、我に醫術を學むせ給ひ、我是に由りて身を立つることを得たり、然るに、今又田地を分ち賜ふは過分と謂ふべし。かで之をぞ受けらる可きといふ、重行聞きて、頭を打掉り、弟を扶助するは兄の道なり、且此の田地は、亡き父君より、汝に譲り給ふ者ふて、我より與ふるに非ず、汝之を受けずば、我父君に對す可き面目やくとて、強ひて與へけれど、行喜も已む事を得ずして受けり。

兄弟ハ恩ヲ以テ合フ者ナリ、宜シク情ヲ以テ

相好ス可シ、

友誼

人世に出でて身を立つるにそ、朋友の裨輔を須つ者なり、されど一たび相友たりし者は、互に隔意なく言ひかはし、相責むるに善を以てし、懇切に表裏なく、まめやかに導きて、智徳を研磨す可きなり、

蒲生君平は、平田篤胤と交情頗深かりけり、一日、君平、篤胤を訪ひて、談偶其の著書なる山陵志の

事に及べり、時に篤胤問ひけらく、僕は和學を修め、君も漢學を究む、君と僕とは學問上小て何と名づく可きやと、君平怪みて、朋友なりと答ふ、篤胤又問ひて曰、朋友たるものゝ交際は、如何せむ可ならんと、君平益怪みて、されどすり、論語にも、忠告して之を善導すとあれば、互に隔意なく、惡いき事は諫め正し、善き事は助け進むる事、至當なる可しと云ふ、篤胤、果して然らば、山陵志に誤謬あれど、僕之を訂正せんと欲す、といひけり、後に山陵志中多く訂正せし所あるは、篤胤の力なり、

多きに居ると云へり、

### 朋友講習スレバ、互ニ相益ス、

#### 禮儀

人と交るふは、貴賤と親疎とに由らず、常に禮儀を正しくす可し、禮儀を行ふふは、心誠に恭敬ならずばある可らず、恭敬の心なけれど、いかに言と貌とに恭敬を呈すとも、禮儀の道に合もざるなり、

徳川家康公、或る時茶の湯を催して、豊臣秀吉公



を請ぜらるゝことあり、  
其の前日、侍士に命じて  
銘茶を壇かせ置かれり  
に侍童竊小之を嘗められ  
れど、公更に新し茶を  
出して、之を壇かせられ  
けり、加々瓜隼人之を見て、  
最早太閤の御入りに  
間も無けれど、其の殘餘  
の茶を進らせ給そん方

宜かる可し、と言ひけれど、公氣色を變じて、奇  
怪の言とも聽くものかな、縱令只今太閤來給ひ  
て、茶の進らす可き者なくとも、いかで侍童の嘗  
め残し、ものを進らす可き、若し、其の仔細を問  
ひ給てば、予ハ予の怠慢を謝す可きの又、其の人  
の見ざるを以て、無禮の振舞を爲んことは、予の  
最好まさる所なり、と言ふれけるふぞ、隼人深く  
耻ぢて、其の失言を謝一ける、

君子ハ冥々ヲ以テ禮ヲ廢セズ、

## 攝生

人いかに學問技術に絶れたりとも、其の身體健康ならざれど、事業を成すこと能はず、而して身體を健康ならしめんと欲せば、飲食を節して、適宜に運動し、よく攝生の道を勉む可し。

熊澤藩山少時より身體肥満して、奔走意の儘ならざりけれど、自歎トて曰、武士たる者は、一旦緩急あらば甲冑を被り、獲物を揮ひて、力の限り立ち働くがずである可らず、然るに我斯く肥え太りたれば、其の働きにもとまらず、是我が身を安佚に

慣したるが故ならん、今より勉めて強壯ならんことを謀る可しとて、是より飲食を節し、武事を勵み、或る時は険山を攀ぢ、或る時を曠野を走りなど、偏ふ攝生を勉めけるが、其の宿直に當る時も、猶安逸に一夜を過さうとして、中夜竊に空庭に



立出で、獨木刀を揮ひて剣法を學び、又屋上に攀ぢ登りて、防火の術を習ひけり、斯くて年を経る程に、身體稍疲せ、難に處して勞を覺えざるまでに至れり、

### 飽食暖衣逸居シテ教ナケレバ、禽獸ニ近シ、

#### 謹慎

甘味を食ひ、美衣を着るは、何人も好む所なり、故に常ふよく謹慎ならされど、忽奢侈に陥りまん、奢侈の念一たび崩せば、其の人竟に身を立ること

と能はず、戒む可きなり、

常陸國笠間藩主本庄家俊は、其の居室の長押に、錢五十文繩ざしにしたるを懸け、又其の傍に、三扇函と書いたる紙片を貼り置きけり、或る人、其の故を問ひけるに、我昔京師に流寓して、貧乏に苦みたりしが、關東より参る可しとの御内意を受けたれば、日頃の懇情を謝せん爲に、扇三本を二條家の家士に贈らぞやと思ひ、御影堂といふ扇店に行きて、之を買もんこしけれども、懷中唯五十文の錢あるのみふて、扇の料に足らず、如何

にせんとて躊躇したるを、彼は、我が關東の内意を受け、ことを知りたるにや、價を問はずして、扇を與へけり、我今は斯く高貴の身となりしも、當時を顧れど悚然たる者あり、されば、其の事を忘れずして、奢侈を慎み、君恩を重する爲に、斯くて自警むるなり、已云ひけれど、其の人深く感トけり、

君子ハ、其ノ獨ヲ慎ム、

立志

新井白石は、少時より識量人に絶れけるが、或る時慨然として曰、大丈夫、生きて封侯を得ずば、死して閻羅王とならんと、是より刻苦奮勵して書を讀めり、富商河村瑞軒、深く其の人と爲りを愛して、己の婿と爲んと言ひけれども、白石肯ぜず、日夜他念なく勉め學びて、其の志を遂げんことを期せり、後幕府に召されて、位從五位下に陞り、官筑後守に任せられ、竟に其の初志をば成けり、

抑人の學を修め業を習ふは、先志を立つるを以

て本とす、志とは心の向ふ所なり、智を開き徳を養ひて、世に立たんと思ふ心常に急なく、念々已まざるを、志を立つと云ふ、志立たざれど、脩め習ふ事成就せず、故に、古人も、志ある者ハ、其の事竟に成ると、へり、而して志を立つるふは、勇猛なる可し、柔弱ふて怠る可らず、怠れど其の事業を破るものなり、白石の如きは、志を立つること勇猛にして、始終怠慢の心なかりしによりて、竟小其の期せる所を成し、なり、吾等之を摸範とすべし。

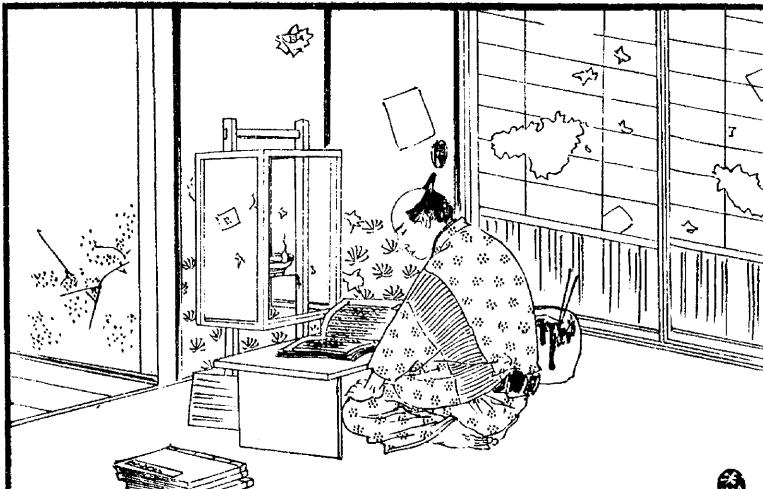
### 人ノ事ヲ成スハ、志ヲ立ツルヨリ要ナルハ ナシ、

#### 勤勉

人は、幼より學を脩め業を習ふに、隙を惜む可し、光陰は箭の如く、時節を流るゝが如し、今年の今日は再び得可らざれど、假ふも徒に時をわたらる可らず、一生の間、心を用ふ可き事なり、

皆川惣は、號を淇園といひて、京師の人なり、四歳の頃より文字を識りて、讀書を好みけれど、父

大に喜びて、次子成章と共に學業を脩めさせり、此の二子長ずるに及びて、共に才學の譽一世に高かりしが、殊ふ淇園の勤勉なるは、人の及ざざる事多かりき。淇園書を読みて、其の義を求むるに、之を得ざることあれど、終夜寐ざして之を



思へり、されど、其の光陰を惜むことも亦世の常ならず、食時も書冊を座右に置きて、且食ひ且讀み、門人又て朋友の來訪することあるも、机ふ凭りて談話し、客去れど直に書を讀めり、故に、奴婢其の室を掃ふことあるも、彼の座不及びることなし。一日淇園の他出を窺ひて、其座を掃そんとしけるに、厚蓆窪み落ちて、殆、凹字の如くまり居たり、淇園の大名を成し、は偶然にあらざることを知る可し。

少クシテ勞ニ服スレバ、老イテ必安逸ナリ。

## 忍耐

世事は意の如くならざる事、十に八九ある可けれど、一事一業を成さんと欲する者は、百難屈せず、百折撓まざる氣量なくばある可らず、若一は無らんか、竟に其の志を遂げざる事あらん、

二宮尊徳は忠厚勤儉の人なり、或る年、小田原藩主の委囑を受けて、下野國、芳賀郡、物井、横田、東沼三邑の衰弊を救ふ事に力を盡しけるが、此の地の風俗固僻にして、動もすれば、頑民其の事業を妨害せんと一けりに、同僚の人々も、尊徳の名望

高きを忌みて、無賴の小人を近づけ、邑中を横行して、大酒を飲み、只管尊徳を嘲りけり、されども尊徳は、彼等と忿り争はず、毎日美酒嘉肴を供して、之を款待し、以て他出をることながら一め、己一人賑恤の業に任す、晝は力を盡して荒蕪を拓き、夜は邑中の子弟を聚めて、人の道を説き聞かせ、倦まず厭らず、孜々として勉め行ひけれど、數年の後、彼の同僚は更ふもへとず、三邑の人々、其の徳に化せられて、偏に其の事業を勵み、三邑漸く富み榮ゆるに至れり、

## 小ヲ忍ビザレバ、大謀ヲ亂ル、

### 蓄積

相模國小田原藩の老職に、祿千三百石を食める、服部十郎兵衛といふ者あり、此の人、借財多きが爲に、職をも務めがたくなり、かば、二宮尊徳に家政整理の事を請ひけり、尊徳、足下家運を復興せんとならば、食を必飯汁に限り、衣は必綿衣不限る可し、且必無用の事を好む可らず、此の三條守らるべきかと問ふ、十郎兵衛、謹みて之を守ら

んこ答ふ、尊徳乃ち彼の家の婢僕を召出して、其の旨を諭し、又債主を呼びて、十郎兵衛の借財を五年間に辯償すべき事を約し、是より自其の家事を勤めて、僅少の財も無益の事に費さざりしかば、五年にして、千兩餘の借財を悉く返済し、而も尚三百兩を残せり、尊徳之を三分して、一分を非常の用に供へ、一分を十郎兵衛の妻が、此の年頃力を戮せて節儉せし勞に報い、他の一分をば、其の婢僕に分ち與へけり、之に因りて、十郎兵衛の家舊の如く榮えけり、

一利を興すは、一害を除くに如かず、財を蓄へんと欲せど、先浪費を省くべし。二宮尊徳の服部氏を再興せしは、よく此の旨を行ひて由れり。吾人之を鑒みざる可けんや。

### 費ヲ省キテ財ヲ養フ、

#### 清廉

江戸の人小島蕉園は、天性清廉にして民を治むる才ありき。田安藩に仕へ、税官となりて、甲斐を治めけるに恩威并び行されて、國人皆悦び服せ



久後職を辭して江戸に  
還り、本郷竹町に僑居し、  
醫を業こゝけるが、いと  
貧しかりけり。甲斐の人  
之を聞きて、相謂て曰、吾  
等斯く安らかに世を渡  
るも、皆小島君の恩恵な  
り。今其の窮を聞きて、いか  
かで之を傍観す可きと、  
乃醵金して百餘金を得

たり、仍て蕉園と相識れる者三人、金を齎して江戸に來り、竹町の寓所を訪ひ、舊恩を謝して金を進めけれど、蕉園容を正して曰、君等昔日の好を忘れず、遠きより來て金を餽り、我が窮苦を援けんとする、其の厚誼譬ふるに物なし、然れども、嚮に我が施行せし所は、公命ふして私事に非らず、されど、私に報ゆる義なく、私ふ受くる理なし、君等歸郷の日、我が爲によく衆に謝せよとて、彼の百金を返しけり、三人大に驚きて之を強ふれども、竟に受けざりけれど、國に還りて衆に謀り、其の

金を以て、蕉園の爲に生祠を建て、永く之を祀りけり。

財を積むは大切なりと雖、苟取る可らざると取るは、大なる僻事なり、贈る者義を破り、受くる者徳を失ふ、慎む可きなり。

不義ニシテ富ミ且貴キハ、我ニ於テ浮雲ノ如シ、

### 博愛

明治二年、朝廷より國中の寺院に告諭して、鰥寡

孤獨廢疾の者を教育せしめらる、遠江國、豊田郡、萬勝寺の僧新羅實禪、此の諭書を見て、誠にありがたき事なりと思ひ、是より、老いて貧しき者、幼くして倚る所なき者を始め、不具廢疾の徒の、自活ノ能をさる者をば、我が僧寮に寄宿せしめて、食を與へ薬を勧め、其の業を執るに堪ふる者にて、草鞋藁靴を作らしめ、年少の者ふも、読み書きを教へ習させ、夜は人の務むべき道を説き聞かせ、之を撫育すること、猶親戚骨肉に於けるが如し、殊ふ癩病徽毒に罹る者をば、自抱へいただきて

看護せしなどは、實に人の及ざる所なり、かりけれど、遠近の人々、之が爲に感動せられ、金錢、穀菜、及衣服の類を寄贈して、其の費用を助け、實禪を活佛の如く尊みけるとぞ。

人は、互に相扶助する務あり、されど、他の困厄艱難なるを見ては、親きと疎きとを問はず、知るど知らざるとを言はず、相應の方便を施して、之を救恤す可し、是人の道なり、而して、實禪もよく此の道を務めたるものと謂ふ可し、

世間第一ノ好事ハ、難ヲ救ヒ貧ヲ憐ムニ如ク

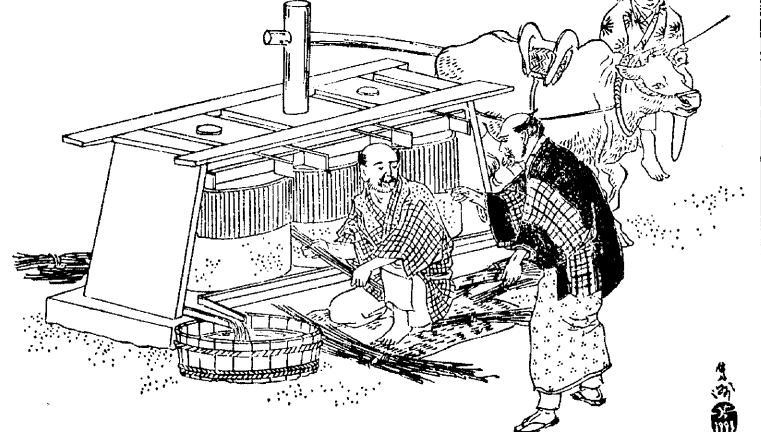
## ハナミ

## 殖産

産業を興して公益を爲すは、博愛の至ふて、人の務む可き道なり、草木禽獸と衣服ともなり、食料ともなり、又家屋の材料ともなりて、能く人の用を助く、然るに萬物の靈たる人、何等の公益をも爲さず、漫然世を送りて可ならんや。

平賀源内は、讃岐國、志度浦の人なり、學を好みて、通曉する所極めて博く、世に益を與へ一事業甚

多し、就中最著しきは、砂糖の製法を發明せし事なり、當時我が國人の食料に供せし砂糖も、多くは外國より輸入せしものなれど、其の價貴くして、小民は容易く之を食ふこと能はず、されば、徳川幕府ふても、種々の手段に依りて、製糖の法



を研究せりめーが、好結果を得ざりき、然るに、源内數年考案を運らーて、竟に其の良法を發明し、大阪の豪商に説きて、適當なる地に甘蔗を培殖せしめ、己の法を實施せしに、よく其の功を奏けり、是より此の法天下に行され、砂糖を製するもの、國々に多く出で来て、竟に外國より、此の輸入を仰がざるふ至れり、

人ハ其ノ身ノ尊卑ヲ問ハズ己ガ國ヲ裨益スルコトヲ忘ル可ラズ、

### 遵法

國の法律は、國家の爲、國民の爲に、其の安寧幸福を保護するものなれば、國民たるものには、善く謹みて之を守る可きなり、

長門國、大津郡、神田上村の農夫に、惣右衛門と云ふものあり、性質篤實にして、年少の頃より、力を農業に盡し、年毎の稅賦も、常に人よりも先に之を上納して、聊も怠慢せることなし、故に人望高くて、畔頭役と云ふ職を務めけるが、常に貢納の事を始め、よろづの法度に心を用ひて、己が組

下ふも、一人だふも製禁を犯し、賦稅を怠るもの  
なからしめ、又其の中に争論の起ることあれど、  
自其の中に立ちて、双方ふ道理を説き諭し、徒に  
官廳を勞するの非事たるを知らしめて、之を和  
解しけり、殊に公よりの命令は、何事にまらず、毫  
も之を非難することなく、只速に實施して、他に  
後れんことを恐るゝなど、奇特の行ひ枚舉しが  
たかりき、是によりて、山口藩より褒賞を賜ひけ  
るを、此の上なく有り難き事なりとして、益己の  
操行を慎みけり、

## 法度ハ犯ス可ラズ、

### 義勇

肥前國長崎に、濱田彌兵衛といふ人あり、屢商船  
に乗じて、海外諸國に渡り、南島諸蠻の語を能く  
し、頗其の事情に通せり、寛永年中、長崎の代官末  
次平藏の商船、印度に往かんとて、臺灣の近海を  
過ぎし時、和蘭人の爲に、太く耻辱を加へられけ  
れど、平藏怒りて、是獨我が身の耻辱のみあら  
ず、大日本國の耻辱なり、いかで之をば忍ぶ可き



とて、報復の事を彌兵衛に謀る。彌兵衛、乃ち弟小左衛門、子新藏と共に臺灣に渡り、商人と號して甲比丹ふ面會し、急ふ起ちて之を擒ふ。甲比丹の従者大に驚き、來り救そんとしければ、ト左衛門、新藏眼を瞋らへて之を遮り止む。其の間に、彌兵

衛刀を抜き、之を甲比丹の胸に當て、往日の無禮を責むるに、甲比丹頭を叩きて其の罪を謝し、今より後、永く日本の船舶を凌辱す可らずと誓ひ、其の子を人質小出せり。彌兵衛乃ち彼の子を擄へて歸朝し、平藏に其の始終を報づけり。此の後、和蘭人我が勇威小恐れて、不敬を加ふるが如きこと絶えてなかりけれど、竟に彼の子を還し遣せり。

我が國も、古來義勇を尚ぶ風俗なり。彌兵衛等の事を見て、其の一端を知る可し。吾等平生此の氣

學問不外乎事  
卷一 生徒用

成美堂藏版

象を磨く可きなり、

義ヲ見テ爲ザルハ勇ナキナリ、

### 愛國

我が國は、氣候順和にして地味よく肥え、五穀菜  
菓登らざるものもなく、且萬世一系の天皇之  
治を治め、千古不易の臣民こゝに住居せり、  
斯る有りがたくめてたき國土も、世界萬方に比  
類なし、此の國民たるものは、深く之を愛して、益  
其の富強ならんことを務む可きなり、

我が天祖天照大神、天孫瓊瓊杵尊に、八咫鏡、  
八坂瓊勾玉、天叢雲劍を賜ひて、豐葦原の瑞穗國  
と、我が子孫の治めす可き國なり、往きて治む可  
しと詰げ賜ひ、天孫、日向高千穂宮に降臨し給ひ  
しより、神武天皇まで、日向に宮居し給ひける  
が、此の天皇の御時、東國大ふ亂れ、君長互に相鬪  
ひかば、天皇、皇兄皇子等と共に舟師を率ゐて、  
筑紫吉備等を経て、浪華に上陸し、紀伊より大和  
小入り賜ふに、所々の君長、或も敗死し、或は降服  
し、竟に八十梶師、長髓彦等を平げて、全國一統の

17120.1

基礎を定め給ふ是ふ於て、大和國橿原の地ふ皇居を奠め給ひて、天皇の大位に即せ給へり、斯くて其の御子孫連綿として、此の大日本國を統御し給ひ、皇運日月と共に輝き、皇統天地と共に疆をなし、而して我が獻聖なる。今上天皇は、其の百二十二代に當らせ給へり、我が國體の尊きこと概ね斯の如く仰ぎ尊む可きなり。

大日本國ハ、萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス、

學小日本修身書卷一終

明治二十六年九月五日印刷  
全

年九月十日發行

編述者 稲垣千穎

東京市下谷區中御徒町三丁皇一番地

定價金八錢五厘

發行兼  
印 刷 者

三浦源助

岐阜縣岐阜市米屋町廿三番戸



賣捌所

成美堂支店

東京市日本橋區本町二丁目二番地

代理店

石井鉤三郎

大阪市東區備後町四丁目

10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100  
101  
102  
103  
104  
105  
106  
107  
108  
109  
110  
111  
112  
113  
114  
115  
116  
117  
118  
119  
120  
121  
122  
123  
124  
125  
126  
127  
128  
129  
130  
131  
132  
133  
134  
135  
136  
137  
138  
139  
140  
141  
142  
143  
144  
145  
146  
147  
148  
149  
150  
151  
152  
153  
154  
155  
156  
157  
158  
159  
160  
161  
162  
163  
164  
165  
166  
167  
168  
169  
170  
171  
172  
173  
174  
175  
176  
177  
178  
179  
180  
181  
182  
183  
184  
185  
186  
187  
188  
189  
190  
191  
192  
193  
194  
195  
196  
197  
198  
199  
200  
201  
202  
203  
204  
205  
206  
207  
208  
209  
210  
211  
212  
213  
214  
215  
216  
217  
218  
219  
220  
221  
222  
223  
224  
225  
226  
227  
228  
229  
230  
231  
232  
233  
234  
235  
236  
237  
238  
239  
240  
241  
242  
243  
244  
245  
246  
247  
248  
249  
250  
251  
252  
253  
254  
255  
256  
257  
258  
259  
260  
261  
262  
263  
264  
265  
266  
267  
268  
269  
270  
271  
272  
273  
274  
275  
276  
277  
278  
279  
280  
281  
282  
283  
284  
285  
286  
287  
288  
289  
290  
291  
292  
293  
294  
295  
296  
297  
298  
299  
300  
301  
302  
303  
304  
305  
306  
307  
308  
309  
310  
311  
312  
313  
314  
315  
316  
317  
318  
319  
320  
321  
322  
323  
324  
325  
326  
327  
328  
329  
330  
331  
332  
333  
334  
335  
336  
337  
338  
339  
340  
341  
342  
343  
344  
345  
346  
347  
348  
349  
350  
351  
352  
353  
354  
355  
356  
357  
358  
359  
360  
361  
362  
363  
364  
365  
366  
367  
368  
369  
370  
371  
372  
373  
374  
375  
376  
377  
378  
379  
380  
381  
382  
383  
384  
385  
386  
387  
388  
389  
390  
391  
392  
393  
394  
395  
396  
397  
398  
399  
400  
401  
402  
403  
404  
405  
406  
407  
408  
409  
410  
411  
412  
413  
414  
415  
416  
417  
418  
419  
420  
421  
422  
423  
424  
425  
426  
427  
428  
429  
430  
431  
432  
433  
434  
435  
436  
437  
438  
439  
440  
441  
442  
443  
444  
445  
446  
447  
448  
449  
450  
451  
452  
453  
454  
455  
456  
457  
458  
459  
460  
461  
462  
463  
464  
465  
466  
467  
468  
469  
470  
471  
472  
473  
474  
475  
476  
477  
478  
479  
480  
481  
482  
483  
484  
485  
486  
487  
488  
489  
490  
491  
492  
493  
494  
495  
496  
497  
498  
499  
500  
501  
502  
503  
504  
505  
506  
507  
508  
509  
510  
511  
512  
513  
514  
515  
516  
517  
518  
519  
520  
521  
522  
523  
524  
525  
526  
527  
528  
529  
530  
531  
532  
533  
534  
535  
536  
537  
538  
539  
540  
541  
542  
543  
544  
545  
546  
547  
548  
549  
550  
551  
552  
553  
554  
555  
556  
557  
558  
559  
550  
551  
552  
553  
554  
555  
556  
557  
558  
559  
560  
561  
562  
563  
564  
565  
566  
567  
568  
569  
570  
571  
572  
573  
574  
575  
576  
577  
578  
579  
580  
581  
582  
583  
584  
585  
586  
587  
588  
589  
580  
581  
582  
583  
584  
585  
586  
587  
588  
589  
590  
591  
592  
593  
594  
595  
596  
597  
598  
599  
590  
591  
592  
593  
594  
595  
596  
597  
598  
599  
600  
601  
602  
603  
604  
605  
606  
607  
608  
609  
610  
611  
612  
613  
614  
615  
616  
617  
618  
619  
620  
621  
622  
623  
624  
625  
626  
627  
628  
629  
630  
631  
632  
633  
634  
635  
636  
637  
638  
639  
640  
641  
642  
643  
644  
645  
646  
647  
648  
649  
650  
651  
652  
653  
654  
655  
656  
657  
658  
659  
660  
661  
662  
663  
664  
665  
666  
667  
668  
669  
660  
661  
662  
663  
664  
665  
666  
667  
668  
669  
670  
671  
672  
673  
674  
675  
676  
677  
678  
679  
680  
681  
682  
683  
684  
685  
686  
687  
688  
689  
690  
691  
692  
693  
694  
695  
696  
697  
698  
699  
690  
691  
692  
693  
694  
695  
696  
697  
698  
699  
700  
701  
702  
703  
704  
705  
706  
707  
708  
709  
710  
711  
712  
713  
714  
715  
716  
717  
718  
719  
720  
721  
722  
723  
724  
725  
726  
727  
728  
729  
720  
721  
722  
723  
724  
725  
726  
727  
728  
729  
730  
731  
732  
733  
734  
735  
736  
737  
738  
739  
730  
731  
732  
733  
734  
735  
736  
737  
738  
739  
740  
741  
742  
743  
744  
745  
746  
747  
748  
749  
740  
741  
742  
743  
744  
745  
746  
747  
748  
749  
750  
751  
752  
753  
754  
755  
756  
757  
758  
759  
760  
761  
762  
763  
764  
765  
766  
767  
768  
769  
760  
761  
762  
763  
764  
765  
766  
767  
768  
769  
770  
771  
772  
773  
774  
775  
776  
777  
778  
779  
780  
781  
782  
783  
784  
785  
786  
787  
788  
789  
790  
791  
792  
793  
794  
795  
796  
797  
798  
799  
790  
791  
792  
793  
794  
795  
796  
797  
798  
799  
800  
801  
802  
803  
804  
805  
806  
807  
808  
809  
810  
811  
812  
813  
814  
815  
816  
817  
818  
819  
820  
821  
822  
823  
824  
825  
826  
827  
828  
829  
820  
821  
822  
823  
824  
825  
826  
827  
828  
829  
830  
831  
832  
833  
834  
835  
836  
837  
838  
839  
830  
831  
832  
833  
834  
835  
836  
837  
838  
839  
840  
841  
842  
843  
844  
845  
846  
847  
848  
849  
840  
841  
842  
843  
844  
845  
846  
847  
848  
849  
850  
851  
852  
853  
854  
855  
856  
857  
858  
859  
860  
861  
862  
863  
864  
865  
866  
867  
868  
869  
860  
861  
862  
863  
864  
865  
866  
867  
868  
869  
870  
871  
872  
873  
874  
875  
876  
877  
878  
879  
880  
881  
882  
883  
884  
885  
886  
887  
888  
889  
880  
881  
882  
883  
884  
885  
886  
887  
888  
889  
890  
891  
892  
893  
894  
895  
896  
897  
898  
899  
890  
891  
892  
893  
894  
895  
896  
897  
898  
899  
900  
901  
902  
903  
904  
905  
906  
907  
908  
909  
910  
911  
912  
913  
914  
915  
916  
917  
918  
919  
920  
921  
922  
923  
924  
925  
926  
927  
928  
929  
920  
921  
922  
923  
924  
925  
926  
927  
928  
929  
930  
931  
932  
933  
934  
935  
936  
937  
938  
939  
930  
931  
932  
933  
934  
935  
936  
937  
938  
939  
940  
941  
942  
943  
944  
945  
946  
947  
948  
949  
940  
941  
942  
943  
944  
945  
946  
947  
948  
949  
950  
951  
952  
953  
954  
955  
956  
957  
958  
959  
960  
961  
962  
963  
964  
965  
966  
967  
968  
969  
960  
961  
962  
963  
964  
965  
966  
967  
968  
969  
970  
971  
972  
973  
974  
975  
976  
977  
978  
979  
970  
971  
972  
973  
974  
975  
976  
977  
978  
979  
980  
981  
982  
983  
984  
985  
986  
987  
988  
989  
980  
981  
982  
983  
984  
985  
986  
987  
988  
989  
990  
991  
992  
993  
994  
995  
996  
997  
998  
999  
990  
991  
992  
993  
994  
995  
996  
997  
998  
999  
1000